

ほけんだより

令和5年度5月号

ご入園、ご進級から1か月が経ちました。そろそろ疲れがでてくる頃だと思われま。コロナウイルスは5類に引き下げられますが、園内では引き続き感染予防に引き続きたいと思います。体調にご注意下さい。

園の健康状況
体調のくずれはみられません。軟便など下痢症状が数名みられました。症状がみられた際は必ず受診をお願いします。

歯科検診のお知らせ
日時：5月18日(木) 9:30～
歯科検診があります。感染予防のため歯科検診物品に加え個別に手袋を交換しながら検診を行います。当日登園前に御自宅にて

しかり歯みがきを行って下さい。
園医の水島先生は、初期のむし歯

もみつけて下さいます。検診にこむし歯といわれ受診しむし歯ごはな

いと診断されても、その後むし歯になっこの方がほとんどです。

むし歯がある、と言われた方は特に御注意下さい。

・1本1本2いねいにどこによごれが残っこの方もみていただきます。

みがきにくい場所もありますが、よごれが残ったままにしていると

その後むし歯になっこのようになります。体調に少しでもじこがある時は

今後も登園を控え健康状態をみていただく様お願いします。受診結果もはやくにお知らせ下さい。

5/10(木) 0歳児身体測定

5/10(木) 0歳健診
5/15(月) 全クラス身体測定

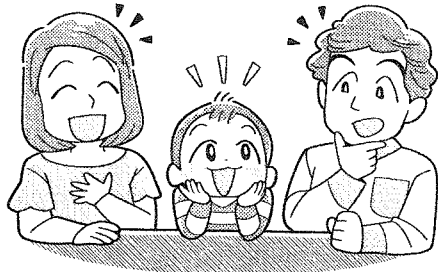
5/18(木) 歯科検診

ほけんニュース

幼少期から育みたい言葉の使い方

幼児期は言葉で自分の気持ちを表現したり、人と言葉を伝え合ったりするなど、さまざまな体験を通して、言葉を豊かにする時期です。いろいろな言葉で、たくさん話しかけてください。

人とのかかわりの中で身につく言葉



子どもはおとなの言葉をまねしたり、遊びの中に取り込んだりして、言葉を使うようになります。言葉のやりとりを重ねることで、子どもたちは自分の気持ちを伝えようとします。そして、相手が言葉で答えることを通して、言葉の使い方を身につけていきます。子どもの言葉に耳を傾けて、言葉を返すことが大切です。

どんな ときに つかう ことば？
知らない ことばは あるのかな？

おはよう

あさの あいさつ

だいじょうぶ？

おともだちが ころんだ とき

ありがとう

おれいの ことば

おやすみなさい

ねる まへの あいさつ

やめて

いやな ことを された とき

ごめんね

あやまる とき

いただきます

たべる まへの あいさつ

いっしょに あそぼう

おともだちと あそびたい とき

「いいよ」も「いや」も子どもの大切な気持ち

幼児期の子どもが、おもちゃを貸してといわれて「いや」と断ることがあります。子どもは、いつも遊んでいるおもちゃを自分のものと感じるので、これは当たり前のことです。無理に「いいよっていおうね」というと、子どもは気持ちを認められなかつたと感じることがあります。

まずは「まだ使っているんだね」などと受け入れる言葉をかけ、その後「仲よく遊ぶにはどうしたらいい？」と話してみましょう。

子どもは気持ちを受け入れてもらう経験を通して、自分と他者の気持ちの違いに気づき、少しずつ歩み寄れるようになります。



子どもに寄り添い、気持ちを動かす言葉かけ

転んで痛いと言っている時

痛くない痛くない!

痛いの！ 悲しい!

受け入れる言葉に

痛かったね。大丈夫？

うん……

痛かったのに否定されたと思う子もいます。受け入れる言葉をかけてみてください。

床にごみをばい捨てした時

どこに捨てたの!?

床に捨てたんだよ

具体的に指示する言葉に

ごみはごみ箱に捨ててね

うん! ごみ箱に捨てる

疑問形で叱ると伝わらないことも。してほしいことを指示してみてください。

行事予定